

平成25年度CPD協議会シンポジウム
2013年5月14(火)

公益社団法人 SICEの認定資格 「計測制御エンジニア」

SICE教育・認定委員会担当

奥津 良之
(アズビル株式会社)

「計測制御エンジニア」制度発足経緯

1979年 産業問題懇話会 発足 * 社会の変化・不景気・技術伝承の危惧・計装全般に亘る技術者育成はどうあるべきか、などの議論

1985年 産業システム部会 * 産業界(重電・計器・鉄鋼・石油・石化・エンジニアリング等)が中心となって産業システムシンポジウムを毎年開催

1993年 計装技術交流部会 * 計装という仕事に「権威ある資格」が無いことが問題となった。 →「技術士に計装を分野として登録できますか？」→「5年毎の技術士法の改正に合わせて申請すれば登録の可能性はある。ただ、計装業務をしている技術者は何人位いるのか？」(文部省(当時)担当者談) →それでは、まずSICE内で技術士予備軍として計装技術士(仮称)をつくり、その上級資格として技術士を据えることとし、人数を推定することとした。

1996年 SICE理事会で「計装エンジニア制度が承認」

1996年～1997年 会誌「計測と制御」に『計装エンジニアの道』特集を掲載し啓発に努める。資格に何のメリットがあるのか、についての議論を継続してゆく。

1998年 第一回初級資格認定試験(1月9日、東京、受験86名)

2003年 「計測制御エンジニア」と名称を変更し 現在に至る。

制度の特記事項

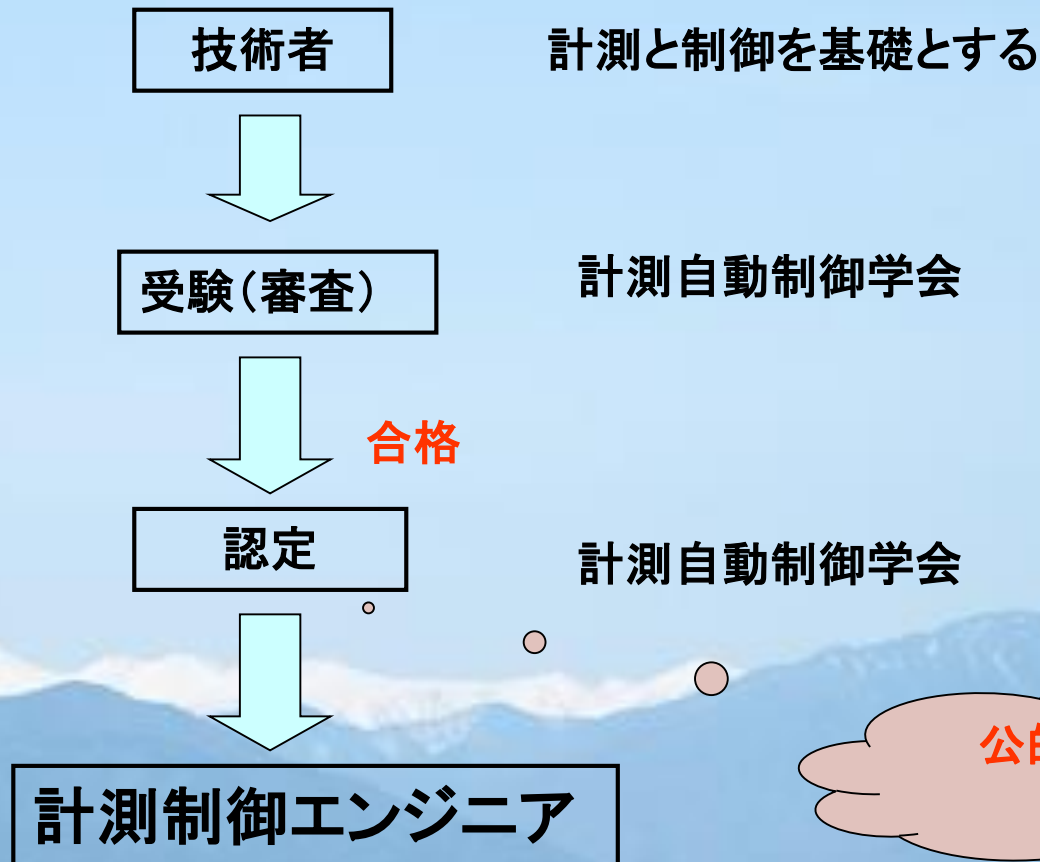
- 1. 計測制御エンジニアの会** * 2006年より計測制御エンジニアの交流の場として発足した。(それまでは計装エンジニアの会) ①総会の開催、②計測制御エンジニア講座の主催、③講演会「〇〇〇とは」の主催、④自動制御連合講演会での計測制御エンジニアオーガナイズセッションの開催・参加
- 2. 試験の地方開催** * 受験生の利便・不公平感を考慮し、さらに全国に広く試験官を育成することを目的として2008年から実施している。福岡(九州支部担当2008年3月)、名古屋(中部支部担当2009年3月)、大阪(関西支部担当2010年3月)、札幌(北海道支部担当2011年11月)、室蘭(北海道支部担当2012年8月)、徐々に全国規模へ拡大しつつある。
- 3. 「認定計測制御エンジニア」の制定** * 本会所属ですでに実績があり、計測制御エンジニアの資格にふさわしい諸先輩に対して、推薦を受けて面接試験のみで認定する資格を、2007年から実施している。(毎年5名程度) 認定計測制御エンジニアの方には 積極的な資格制度広報・受験生勧誘にご協力いただけることも、お願いしている。
- 4. 名刺100枚の付与** * 計測制御エンジニア合格者には顔写真入名刺100枚を付与し、業務活動に大いに使用戴き、制度流布に貢献いただく。

公益社団法人 SICE認定資格
「計測制御エンジニア」

広報資料DRAFT
2012年度

計測制御エンジニアとは

公益社団法人計測自動制御学会が認定する資格であり計測と制御を基礎とする技術者が計測自動制御学会の審査を合格したときに認定される。



公的資格です！

計測制御エンジニアの種別

①計測制御エンジニア

企業での実務を通じてリーダーとして活躍しているエンジニア

②計測制御エンジニア補

計測制御の基礎知識および実地経験に基づいた知識を持ったエンジニア

③計測制御エンジニア(アカデミック)

計測制御の基礎知識を持ち、その分野を研究している大学院生

応募資格

	高卒	高専	大学	院
計測制御エンジニア アカデミック	—	—	—	○
計測制御エンジニア補	6年以上	4年以上	3年以上	2年以上
計測制御エンジニア	10年以上	8年以上	7年以上「	6年以上

①計測制御エンジニア(アカデミック)

書類審査後, 書類審査に合格した人のみ筆記試験及び口述試験を実施する.

審査内容

(i)大学工学部における計測・制御関係の単位を取得できる程度の知識, またそれに関する研究を行なっていける知識, が要求される.

②計測制御エンジニア補

書類審査後，書類審査に合格した人のみ筆記試験及び口述試験を実施する。

審査内容

- (i)大学工学部における計測・制御関係の単位を取得できる程度の知識。またそれに関係する実地経験に基づいた知識
- (ii)計測・制御に関連した計算機ハードウェアおよびソフトウェアの知識
- (iii)計装設備が対象とするプラントや機器の知識およびその計装設備の設計や保守の知識

これらのうちのいずれかに詳しくれば，
他についてはあまり知識がなくても構わない。

審査内容

③計測制御エンジニア

書類審査後，書類審査に合格した人のみ筆記試験及び口述試験を実施する。

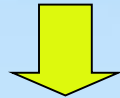
審査内容

- (i) 企業での実務を通して，リーダーとして活躍できる，部下を指導できるような実地経験に基づく知識，
- (ii) 計測・制御に関連した広範なまたは深い知識，

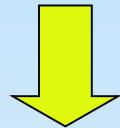
特記事項

計測制御エンジニア アカデミック特典

計測制御エンジニア アカデミック 資格取得



実務経験 2年



- (1) 計測制御エンジニア補 **筆記試験免除**
 - (2) 計測制御エンジニア会 入会可
- 各種セミナー参加可能

計測制御エンジニア会とは

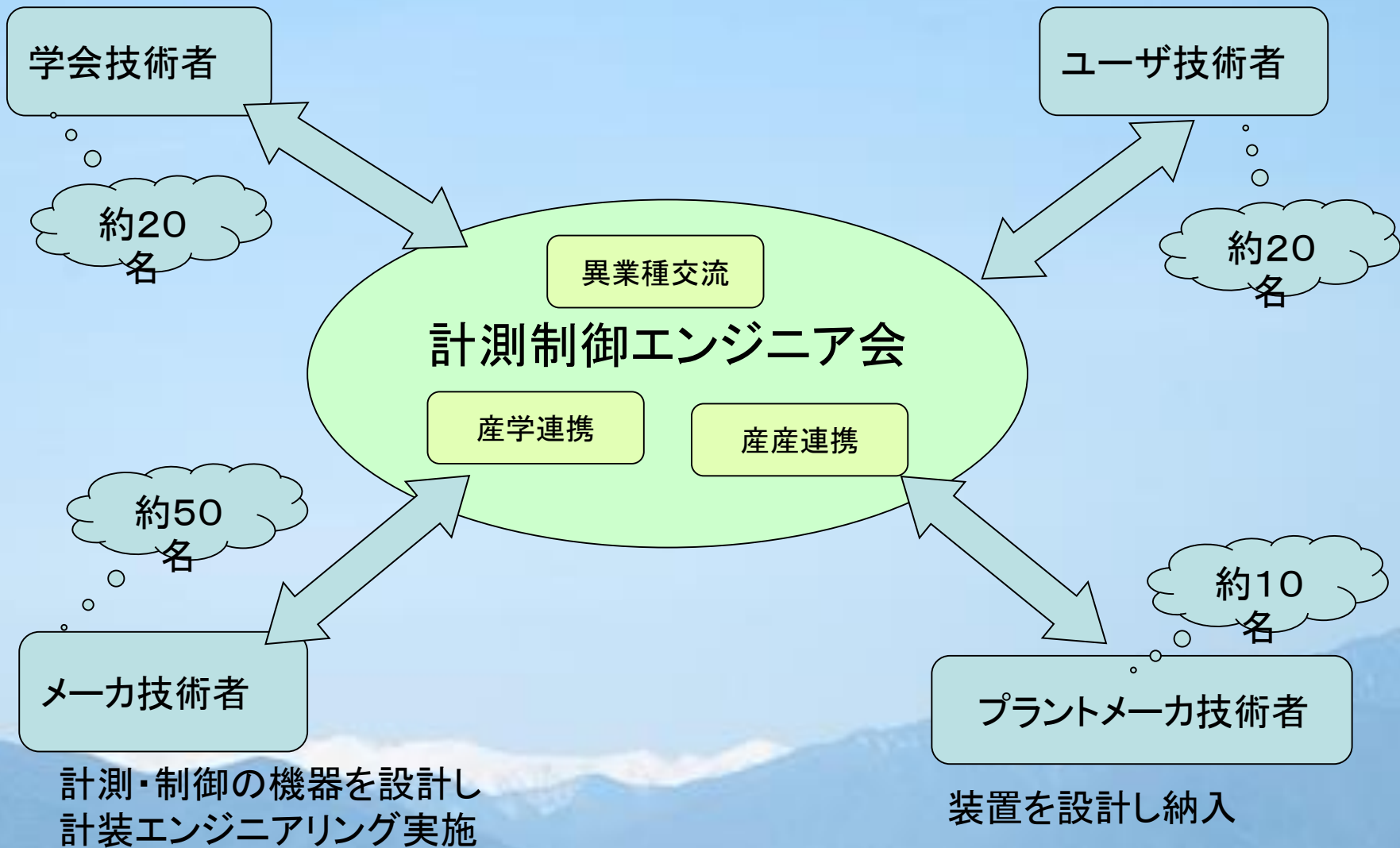
公益社団法人計測自動制御学会が実施する計測制御エンジニア資格試験に合格し、認定を受けた人は、計測制御エンジニア会に入会することができる。

SICE学会員＝会費無料

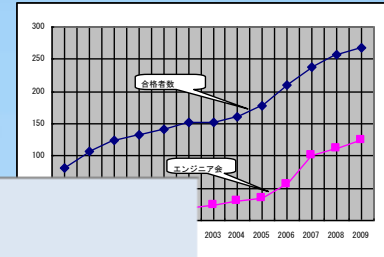
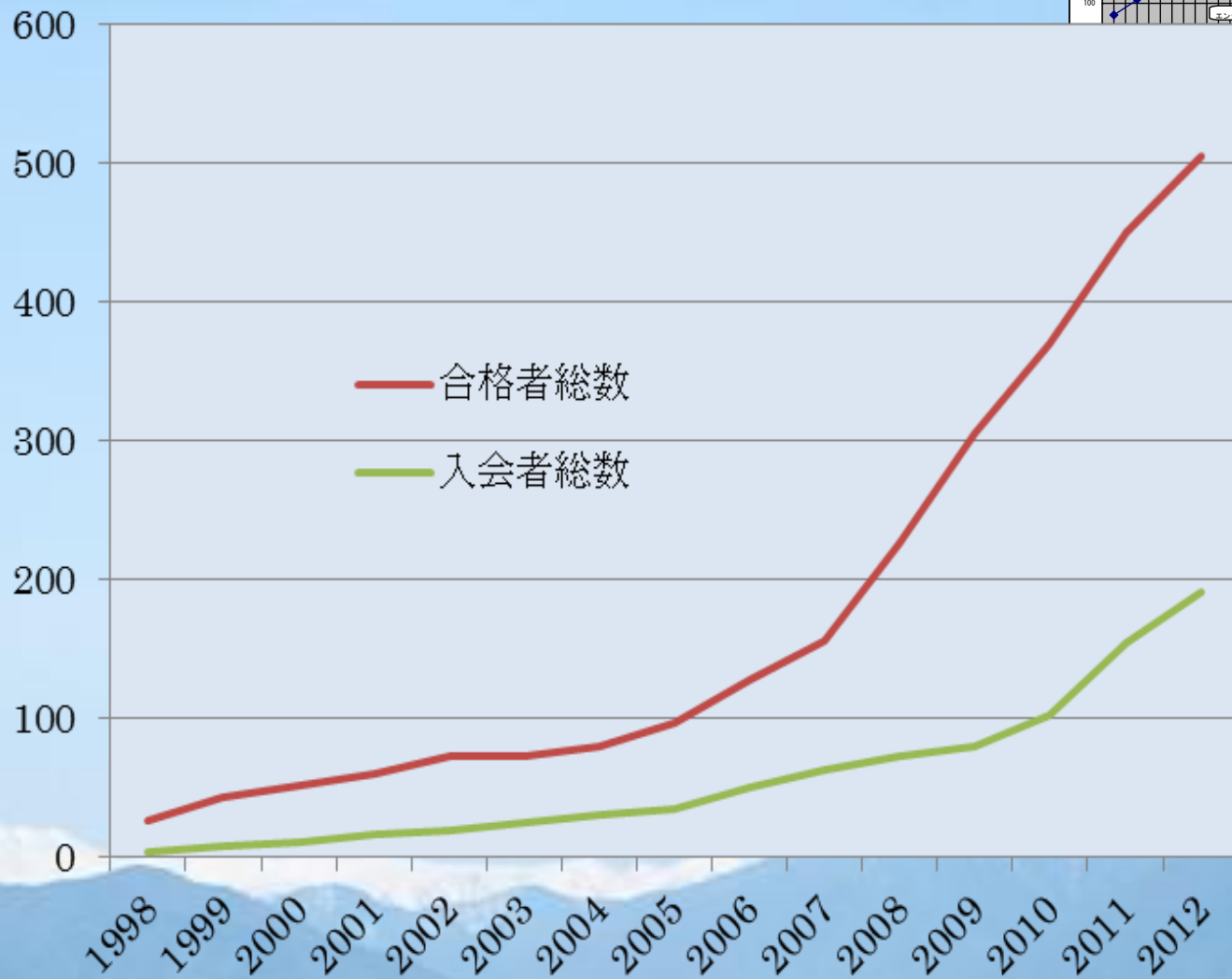
計測制御エンジニア会の目的

計測制御技術に携わる人の知識研鑽の場を提供し、計測制御エンジニアの社会的地位向上を目指す。

産業技術に精通し産業界を
サポートする学会者2008



資格合格者および エンジニアの会入会者推移



計測制御エンジニア会活動

(1) 計測制御エンジニア総会開催

(2) ○○とは

2010 「スマートグリッド／スマートコミュニティとは」

2008 「無線計装とは」

(3) 「よく知る会」「よく見る会」「今さら人に聞けないシリーズ」

2011 よく知る会「PLSを用いた統計的

プロセス管理(MSPC)について」

2010 よく知る会「(財)神奈川科学技術アカデミー見学会」

2009 「今さら人に聞けない"雷対策"」のご案内

2009 よく見る会「理化学研究所」

2009 「今さら人に聞けない太陽光発電」

計測制御エンジニア講座

2012 宇宙開発業界 : 「宇宙航空研究開発機構(JAXA)筑波宇宙センター」

2010 化学業界 : 「三菱化学本社ビル」

2010 鉄鋼業界 : 「JFEスチール東日本製鉄所(千葉地区)」

2008 自動車業界 : 「日産自動車:先端技術開発センター」

2007 石油業界 : 「鹿島石油」

2006 ガス業界 : 「東京ガス:袖ヶ浦工場」

計測制御エンジニア会のメリット

- ① 計測制御エンジニア主催の行事に優先参加
- ② 計測制御エンジニア独自行事への参加可能
- ③ 異業種の交流が可能になる.

